
8 品目別調査結果 桃

1. 概況
2. 調査実施概要
3. 各取引段階の“量”の変化
4. 各取引段階の“価格”の変化
5. 福島県産品に対する認識

1. 概況

297

調査結果概要 (1/3)

1. 各取引段階の“量”の変化

出荷段階

- 全国的に桃の出荷量が減少傾向にある中で、福島県産桃の出荷量の減少幅は全国に比べて小さくなっている。

卸売段階

- 卸売市場における福島県産桃は、主に首都圏で取引されており、関西圏や札幌でも流通している。
- 名古屋市中央卸売市場と京都市中央卸売市場以外の市場において、福島県産桃は8月に市場シェア1位である。
 - 名古屋市中央卸売市場と京都市中央卸売市場において、福島県産桃が市場シェア1位になる月は存在せず、年間を通して流通量は少ない。

298

2. 各取引段階の“価格”の変化

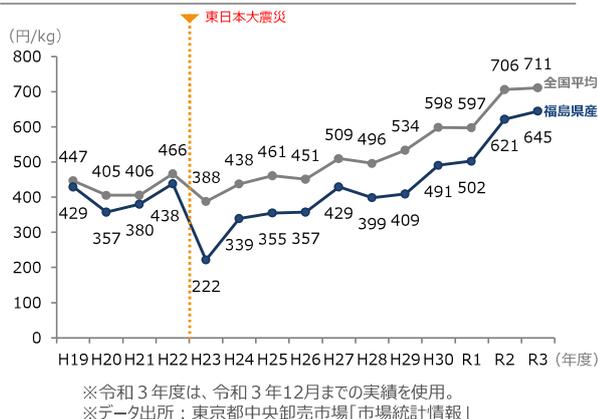
市場における状況

- 東京都中央卸売市場における福島県産桃の価格は、震災後に下落したものの、その後上昇を続けている。
- 全国平均との価格差が平成23年度に拡大した後、徐々に回復傾向にあるが、令和3年度においても震災前よりも価格差が残っている。

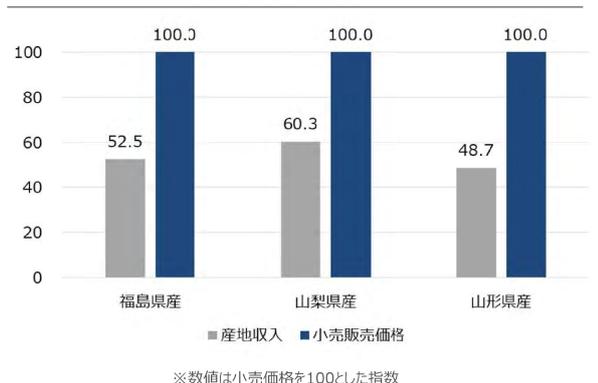
個別事例における状況

- 首都圏で福島県産桃、山梨県産桃及び山形県産桃を併売する小売業者に至る流通経路を対象に、流通段階ごとの取引価格を調査した。
- この事例では、福島県産・他県産ともに、小売業者の値入率は全商品でほぼ同程度であった。
 - 贈答用商品であるためシーズン中に価格を変えることがなく、調査対象期間中において小売業者の販売価格は一定であった。また、仕入価格も一定していた。

東京都中央卸売市場における平均単価の推移



桃の価格形成事例

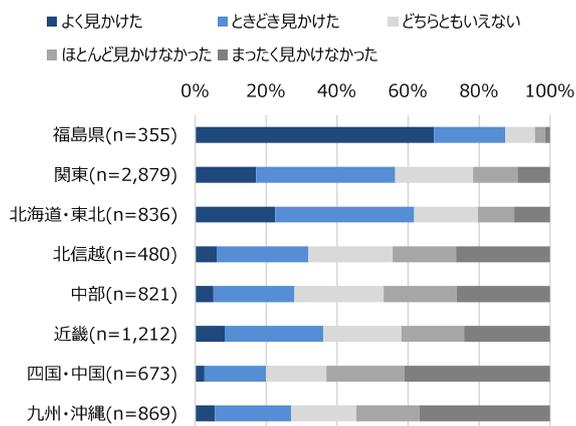


3. 福島県産品に対する認識

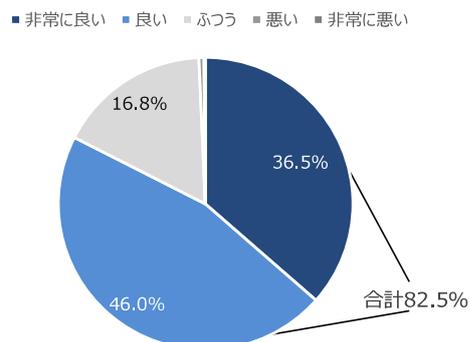
消費者への調査

- 福島県産桃をよく見かけた人の割合は、福島県が高く、北海道・東北以外の地域では20%に満たない。
 - 福島県産桃を買ったことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では26.5%であった。
- 福島県産桃の購買者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が82.5%であった。

福島県産桃を店頭で見えたか



福島県産桃購買者の評価 (n = 2,916)



2. 調査実施概要

調査の全体像

概要調査として政府統計等を整理し、全体像を把握した。また、消費者へのアンケート調査により、消費者の福島県産品の購買実態や評価を把握した。さらに、取引段階ごとの取引価格、販売価格に係る調査を実施し、推移の実態を分析した。

	概要調査	アンケート調査	追跡調査
概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> 統計情報を整理し、生産・流通の実態を把握。 市場での動向については、競合県産品との比較分析を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 消費者の福島県産品の購買実態や評価を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問面接により取引段階ごとの取引価格、販売価格に係る調査を実施し、推移の実態を分析する。 他県産の同品目についても調査の上、比較分析を行う。
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> 行政機関の政府統計。 卸売市場データ。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国の消費者。 (11,000人) 	<ul style="list-style-type: none"> 百貨店またはスーパーで扱われた桃。 福島県産以外に他県産も扱う事業者を対象に含める。
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> 福島県産桃の出荷量。 卸売市場における取扱量と、競合県産品と比較したシェアの推移。 卸売市場における取引価格の競合県産品との比較。 	<ul style="list-style-type: none"> 福島県産桃の視認経験。 福島県産桃の購買経験。 桃購買時の重視点。 福島県産桃の評価。 	<ul style="list-style-type: none"> 流通ルートを抽出し、取引価格の追跡調査(各取引段階における関係者からの個別データ収集)を行う。
各節との対応	<p>各取引段階の“量”の変化</p> <p>各取引段階の“価格”の変化</p>	<p>福島県産品に対する認識</p>	<p>各取引段階の“価格”の変化</p>

各データを入手・分析し、最新の傾向を比較した。アンケート調査と追跡調査については、独自に情報を収集した。

概要調査
使用データ

- 農林水産省「果樹生産出荷統計」。
- 首都圏・関西圏・名古屋・札幌の各市場の統計データ。

アンケート
調査

- 全国の消費者にWebアンケート調査を実施。
 - 11,000件を回収・分析を実施した。

追跡
調査

- 首都圏内の小売業者へ流通するルート：3ルート。
 - うち1ルートは競合産地産の価格も収集。
- 福島県内の小売業者へ流通するルート：1ルート。
 - このルートにおいても、競合産地産の価格を収集。
- 関西の小売業者へ流通するルート：1ルート。

※個社が特定できないようにするとともに、実額を非公表とすることを前提に一部事業者から受領

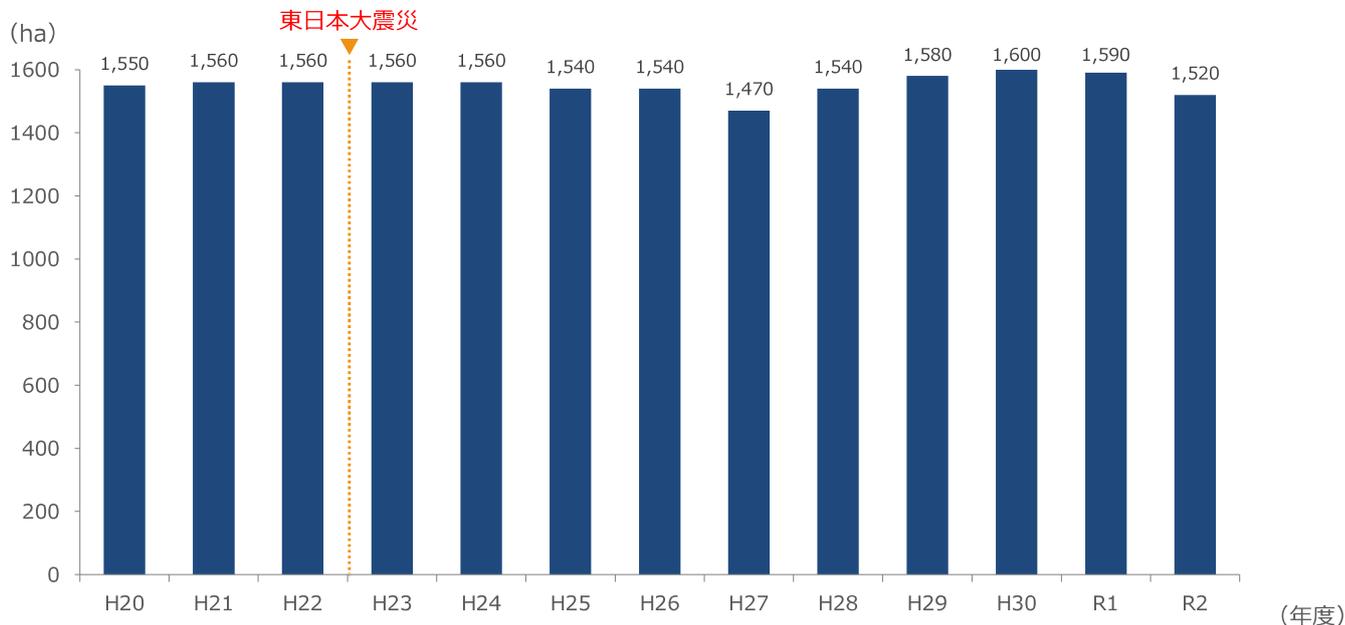
303

3. 各取引段階の“量”の変化

福島県産桃の結果樹面積の推移

震災以降、全国的に桃の結果樹面積が減少していく中、福島県産桃は平成27年度に減少しているものの、近年では震災前と同程度の水準を維持している。

福島県産桃の結果樹面積の推移

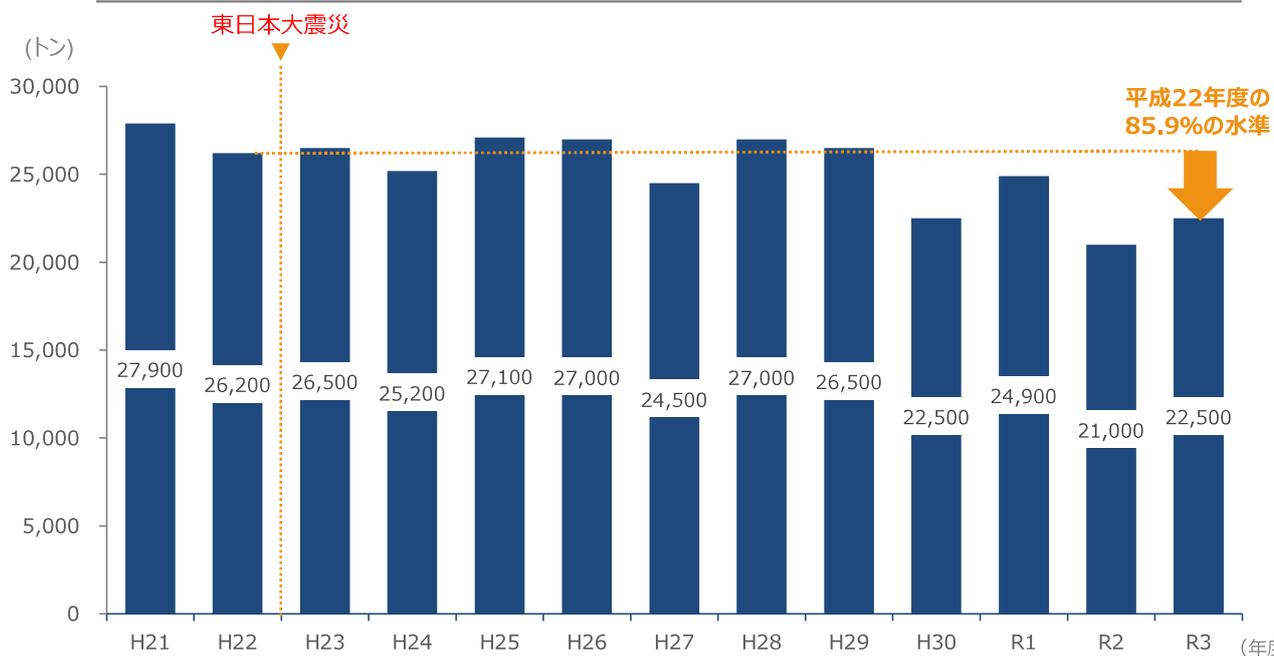


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

福島県産桃の出荷量の推移

令和3年度の福島県産桃の出荷量は、平成22年度の85.9%となった。

福島県産桃の出荷量の推移

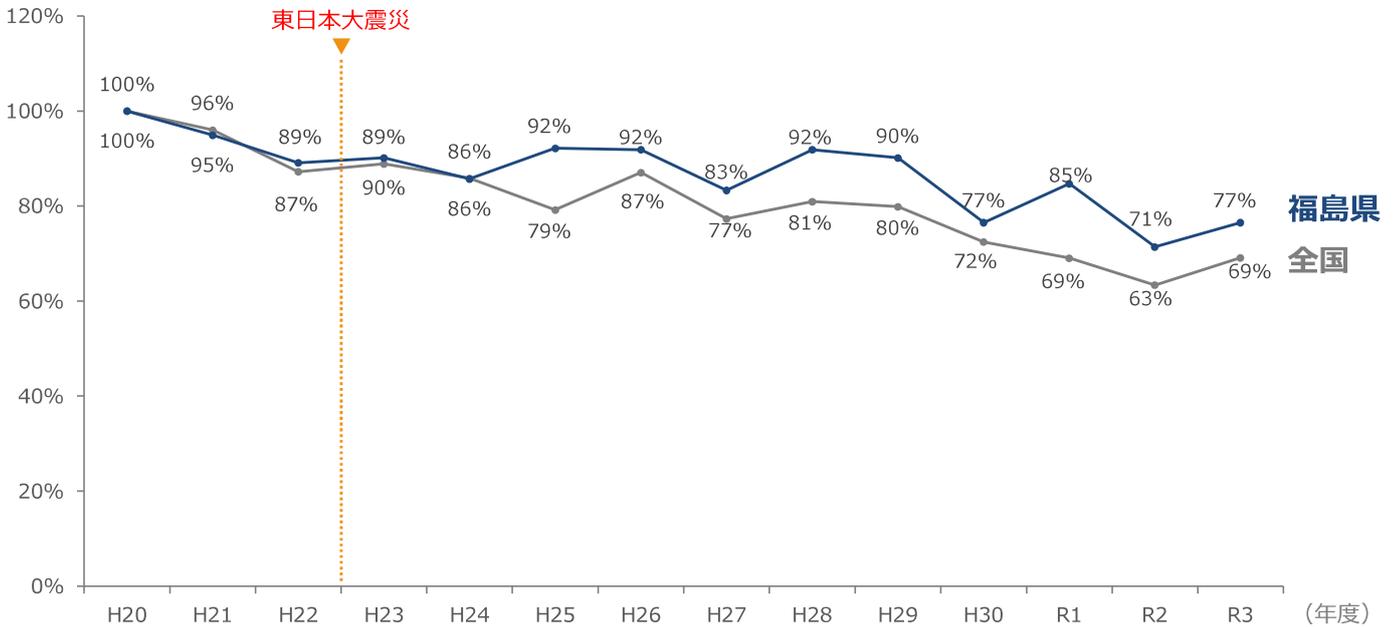


※令和2年度については、4月中旬からの低温により着果数が少なかったこと、7月の長雨、日照不足により果実の軟化が発生したこと、更に前年の台風による大雨の影響もあってモモせん孔細菌病が発生したこと等により、出荷量が減少した。

データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

全国的に桃の出荷量が減少傾向にある中で、福島県産桃の出荷量の減少幅は全国に比べ小さくなっている。令和3年度の出荷量は福島県、全国ともに前年より増加している。

全国・福島県産桃の出荷量の推移（平成20年度を100%とした値）

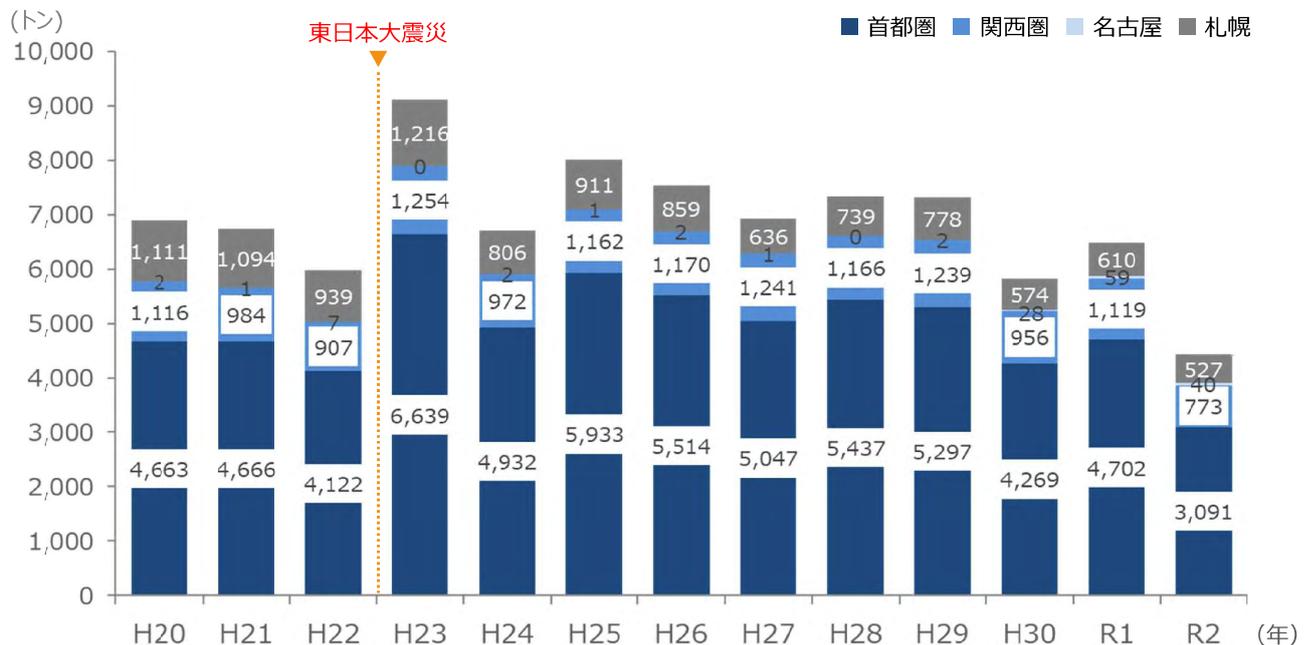


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

各市場における福島県産桃の取扱量の推移

福島県産桃は、主要地域卸売市場の中では主に首都圏で取引されており、関西圏や札幌でも流通している。名古屋での取扱量は、震災前を含めても最大約59トンとわずかである。

各市場における福島県産桃の取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データより作成

各市場における桃の産地リレー(令和2年産・首都圏)

東京都中央卸売市場の福島県産桃は8月・9月、横浜市中心卸売市場では8月にシェア1位であった。

各市場における産地リレー(令和2年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に

■ ■ ■ で色付け

東京都中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	-	-	-	0%	0%	0%	16%	47%	29%	27%	0%	0%	2,870
山梨	-	-	-	98%	62%	89%	78%	26%	11%	4%	8%	12%	6,000
山形	-	-	-	0%	0%	0%	0%	14%	26%	25%	0%	0%	789
長野	-	-	-	2%	6%	0%	2%	9%	11%	32%	0%	0%	569
秋田	-	-	-	0%	0%	0%	0%	1%	14%	12%	0%	0%	154
総量	0	0	0	1	42	1,040	5,109	3,741	898	49	1	1	

横浜市中心卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	-	-	-	-	6%	0%	17%	46%	14%	0%	-	-	221
山梨	-	-	-	-	92%	94%	81%	22%	1%	0%	-	-	415
山形	-	-	-	-	0%	0%	1%	28%	64%	100%	-	-	164
秋田	-	-	-	-	0%	0%	0%	3%	21%	0%	-	-	34
岡山	-	-	-	-	0%	0%	1%	0%	0%	0%	-	-	4
総量	0	0	0	0	1	52	362	314	112	1	0	0	

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場における桃の産地リレー(令和2年産・関西圏)

大阪市中心卸売市場では、8月に福島県産桃がシェア1位であった。京都市中央卸売市場では、7月8月にシェア3位であるが、流通量は他市場と比べて僅かである。

各市場における産地リレー(令和2年産)

各月で市場シェア1位~3位の順に

■ ■ ■ で色付け

大阪市中心卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	-	-	-	0%	0%	0%	6%	40%	22%	0%	-	-	741
山梨	-	-	-	91%	54%	54%	62%	27%	15%	0%	-	-	2,175
和歌山	-	-	-	0%	1%	39%	27%	9%	1%	0%	-	-	995
長野	-	-	-	0%	4%	0%	2%	16%	8%	0%	-	-	288
山形	-	-	-	0%	0%	0%	0%	4%	24%	76%	-	-	121
総量	0	0	0	1	44	677	2,209	1,377	255	3	0	0	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	-	-	-	-	-	0%	3%	13%	0%	-	-	-	31
山梨	-	-	-	-	-	91%	88%	65%	77%	-	-	-	407
長野	-	-	-	-	-	0%	3%	19%	7%	-	-	-	42
和歌山	-	-	-	-	-	9%	5%	0%	0%	-	-	-	18
山形	-	-	-	-	-	0%	0%	0%	10%	-	-	-	4
総量	0	0	0	0	0	43	266	170	28	0	0	0	

※福島県及び年間取扱量上位県を表示。
※総量・合計の単位はトン。

データ出所：各卸売市場の統計データ